

道標ない旅269

“269”とは南郷中の全校生徒数です

平成31年3月25日(第34号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 2学年班別校外（東京など）学習の感想がまとまってきたので2名ほど紹介します。 ◆◆

まずは、修学旅行での班別行動等の礎となる、班別校外学習についての感想からどうぞ。

2年B組

僕たちは今回、科学博物館と国立博物館に行きました。そこには、絶対に1日だけでは見切れないほどの興味深い展示物がたくさんありました。

その中でも僕が強く興味を持った展示物は、科学博物館の恐竜の模型です。どこに興味を持ったかと言うと、恐竜の本物の骨と人の手で作られた偽物の骨をうまく組み合わせ、恐竜を忠実に再現していたことです。本物の骨は土などに埋まっていたため茶色になって、人が作ったものは白だったので見分けもはっきりくようになっていました。僕は展示スペースに本物の骨だけ置いてあってもあまり興奮はしなかったと思います。人の技術と過去のものや文化が融合すると、より良さが引き立てられると思いました。

面白いなと思ったこともありました。それは、国立博物館にある刀についてです。何故かと言うと、刀のそりの腹側にある波紋の綺麗さや、刀のつばのかっこよさなどを競っていたことです。武士のプライドの高さは僕が思っていたよりも高く、そんなところでもバトルが繰り広げられていたんだなと思いました。

他にも野口英世のおかげで黄熱病の研究が進められ、人々が安心できるようになったりと、僕たちは過去の物や人に支えられて生きているんだということを改めて感じる事ができた東京班別行動でした。

そして、事前の平和学習を通して臨んだ「登戸研究所」訪問の感想も紹介します。

2年C組

私は今回事前学習を通して登戸研究所の存在を初めて知りました。今まで見てきた表向きの戦争は、このような裏での研究で成り立っていたということも知りました。様々な研究の中で風船爆弾というものがありました。風船爆弾という言葉自体は聞いたことがありましたが、実際にどのように使われていたのかは知らなかったので説明を聞き、詳しく知ることができました。また偽札をばらまくと言う作戦には驚きました。偽札を作るために研究を繰り返し、最終的には本物そっくりに作り上げていたことを知って、すごいなと感心するとともに、勝つために犯罪までも犯してしまう人間、またそんな人間を作り上げてしまう戦争はとても怖いと感じました。このことから私は、人間の知恵を戦争何かに使うのではなく、平和な未来のために使うべきだと思いました。戦争しても何の意味がないということを考えればすぐにわかります。そんな意味のないことに気をつかっても、人を傷つけるだけだと私は思います。人を傷つけるものではなく、皆が笑っていられるためにはどうすればいいか、一人一人が知恵を絞って考えることが、群読でもあった「一歩ふみだすこと」につながっていくと思います。そのために私は学校の平和学習で学んだこと、これから新たに学ぶ事から目をそらさず、なぜそうなってしまったのか、どうしたらそうならないで済むか考えていきたいです。平和な未来に一歩でも近づけるように。

しっかりと事前学習していったことを感じさせてくれる感想ですね。2学年は今回の東京班別行動の経験を活かして、6月の3年生修学旅行につなげていきます。修学旅行での更なる成果を期待したいと思います。

◆◆ 来年度の夏休みの終わりが早まります。 ◆◆

次年度は、10連休のGW化と、10/22即位の礼で、授業日数が例年より減ってしまいます。本校での分析の結果、少なくとも2日間の確保に努める必要があります。このことを受け、次年度(2019年)の夏休みの終わりは、8/26とし、8月27日(火)より、授業を行います。すでに、近隣の横須賀市等では、常態化している夏休み・冬休みの短縮ではありますが、南郷中の実践としては、慣れない本年度より2日間早い授業再開となりますので、気をつけてください。

なお、葉山中は合唱祭の関係で、8/28再開で、秋休みは1日削った3日間とのことです。本校は、後期への切り替えのための秋休みは従来通り4日間で実施します。両校授業日数は同じですが、授業日がずれる結果となりました。何卒ご留意ください。

確認となりますが、

本校の夏期休業は 7/20~8/26 8/27から授業 です。また、秋休みは 10/10前期終業式 10/11~10/14 (秋休み) 10/15後期始業式 です。

◆◆ 来年度等の本校に係る情報についてお伝えします。 ◆◆

- (1) 新入生は98名を予定しています。
これを受けて、新1学年は3クラス編成とします。卒業生が103名でしたので、学校全体の人数は数名減となる予定です。
- (2) 本年度と同様、数学と英語の授業で、指導方法の改善による教員の加配を受け（2名）TT授業を実施します。
- (3) 5月17日(金)に予定している、1学年町づくり展見学は、バスの配車が困難で、京急バス・東洋観光バス・三浦観光バス・横バス観光いずれも配車できませんでした。
実施に対して思い切った変更が必要となっています。
本年度は、午前中「山楽会」さんからの葉山のお話を聞いてから、バスで会場に向かっていました。しかし来年度は同様にはいかないので、思い切って山歩きで会場に向かってみるのはどうだろうか、といったアドバイスなどを検討していく予定です。
かつて、南郷中は「葉山まるごとウォッチング」という、FGC 活動を行っていたこともあり、このドッキング企画は十分検討に値するなど考えています。新1学年が打ち出す解決策がどんなものになるか、ご期待ください。
- (4) 平日はもちろん、土日の部活動登校の際にも、交通安全に気をつけてください。
昨日3月21日(木)に、学校に出勤する際、学校下の南郷中学校入り口の交差点で気付いたことです。予想はしておりましたが、スターバックスコーヒー店の開店で、長柄交差点方面からガソリンスタンド或いはスターバックスを利用するため、本校入り口の坂道へ、右折する車が大変増えました。それらの車は、該当施設に入るためすぐさま、生徒の通学路を横切ることになります。通学路の横断だと知っていて、意識している地元車両ならまだしも、見よう見まねでついてくる観光客の車両も多く見られます。対策としては、生徒の自己防衛、安全確保への気配りが第一となります。学校でも呼びかけますが、家庭でのご指導もよろしくお願い申し上げます。
- (5) 平成31年度の南郷中学校の教育基本方針は、基本的に本年度掲げたものを継承します。

私が掲げる学校経営の基本方針は、

- (1) 新しい時代に必要な資質・能力を育む学校
- (2) 豊かな心を育み、信頼で繋がった学校
- (3) 地域を愛し、地域から愛される学校

の3つの柱です。

柱の一つ一つに、具体的方針が6～8個設定されていますが、その具体的方針も引き継ぎます。今すぐに、どんなものか再確認したい方は、学校HPに掲載されていますのでそちらを参照ください。次年度には改めて紹介致します。

また、来年度の重点目標も、その具体的方針から力点を入れるものを選んでいきますが、今年度達成しきれなかったと判断したものは引き続き残していこうと考えています。

さて、次年度において一番変更になるのは、校内研究の部分になります。新学習指導要領を踏まえた研究となるよう、下記テーマに変更しました。

「主体的・対話的で深い学びへのアプローチ」
～学校全体で作っていく、『分かる』ことの質的改善～

【このテーマ設定の理由】

7月下旬の校内研究で視聴した、福島哲也先生の授業づくりは、画面を通して感じられる集団づくりの巧みさや、特に「分かった」ととどまらず、「説明できる」までの理解を求めていく授業づくりは、「深い学び」の目指す姿としてふさわしいものでした。

本校は、学校経営基本方針一つに、「新しい時代に必要な資質・能力を育む学校」を掲げています。研究の成果として、「分かった」ととどまらず、「説明できる」までの理解を生徒に求めていく授業づくりに成功するようになれば、南郷中の生徒に、学び合い、学習を深めていくことの楽しさを知り、生涯学び続けようとする資質を育むことが出来ると確信しました。

このような理由でテーマを設定しましたので、来年度以降の校内研究の成果をご期待ください。